

ほけんだりも月

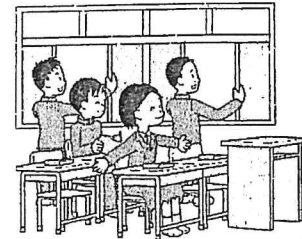
感染症予防におけるこれからの学校生活の過ごし方

◇新型コロナウイルス感染症について知る◇

- ◆ 感染力の強い感染症である。
- ◆ 現段階で治療薬や予防接種がない。
- ◆ 感染すると人によっては重症化し、死亡に至るケースがある。
- ◆ 感染経路は飛まつ感染または、接触感染と言われている。

飛まつ感染とは、口から飛び散る細かいしぶきにより感染すること。

接触感染とは、ウイルスなどが付着した物に手指が触れ、その手指を目・鼻・口に触れることで粘膜から体内に感染すること。



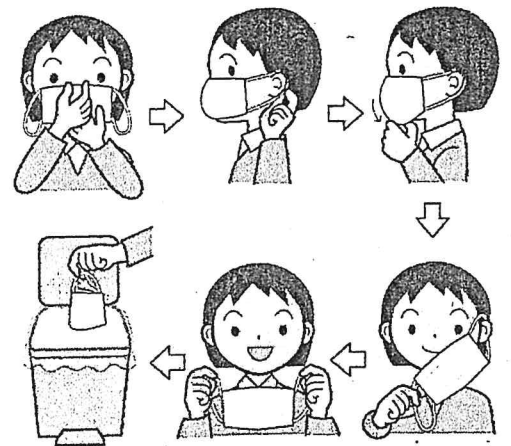
感染拡大防止の対策：「密閉」「密集」「密接」を避ける

◇学校生活での留意点◇

1 毎日必ずマスクを着けて学校生活をおくる。

咳やくしゃみを防ぐだけでなく、会話により飛び散る見えないつばによる飛まつ感染を防ぎます。

運動中や食事中など、マスクをしていない時は、「まわりの人と距離をとる。」「対面でしゃべらない。」などの飛まつが飛ばない配慮が必要です。マスクは、配布されたマスクや手作りのものでも良いです。マスクを使い捨てない場合は、衛生面に気をつける。



2 活動の前後に手洗いを実行する。

学校では、授業や部活動で共有する物や施設が多くあります。消毒することができない物や消毒できる物でも、使うたびに消毒することは、限られた時間の中では困難が多いです。そのためには、物を介してうつる接触感染を防ぐために、活動の前後に石けんで手洗いをすることを心がける。

注意点：手にウイルスがついただけでは、感染になりません。

目や鼻や口の粘膜に手指が触れることで体内に取り込まれて増殖し、感染します。

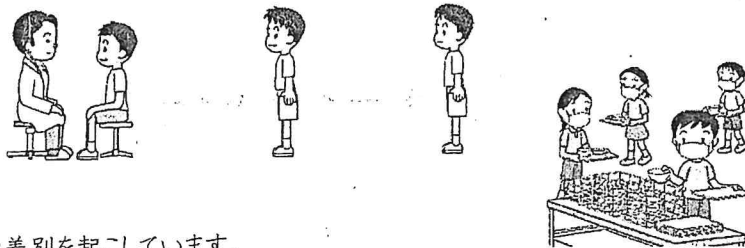
こまめに石けんでの手洗いをし、ウイルスを取り込まないこと。



手洗いが必要な場面【授業後・部活動後・トイレ後・清掃後・給食前】

3 人との距離を近づきすぎない。

接触感染や飛まつ感染を防ぐために、手を伸ばしても触れない程度の距離を保つ。



4 「不安」からくる「偏見」を解消しよう。

誰が感染しているかわからない現状で、不安が偏見や差別を起こしています。
正しい情報を得ること。悪い情報ばかりに目を向けないこと、不安にあおられている人に同調しないこと。

5 規則正しい生活をおくり、免疫力を高めよう。

日頃から生活リズムを整え、ウイルスに対する抵抗力を高めておくことが予防の一つとなります。



健康診断 検尿検査を実施します

日程	対象者	容器受け渡し	提出日	予備日	出せない人
一次検査	全員	6月9日(火)	6月10日(水)	6月11日(木) 6月12日(金)	6月18日(木)
二次検査	対象者	7月7日(火)	7月8日(水)	なし	7月14日(火)

※家に検体（採尿した容器）を忘れ、提出ができなかった人は、次の新しい容器を取りに来てください。